

日本建築学会
ポリマーセメント系
塗膜防水工事
施工指針(案)
Bタイプ品質適合品



ポリマーセメント系塗膜防水材

SUPERFLEX[®] D2

スーパーフレックス ディー・ツー



地下・水槽・土木防水用



日本セリノール防水事業協同組合
<https://www.japan-cerinol.com>

安心・安全な 快適生活を創る。SUPERFLEX® D2

ポリマーセメント系塗膜防水材料

迅速施工で、多岐に応じる塗膜防水材料スーパーフレックスD2

「スーパーフレックスD2」は地下壁・各種水槽・土木構造物などに使用される防水材料で、塗膜は下地亀裂に追従性を持ち、柔軟性のある優れた防水層を形成する、急速水硬型のポリマーセメント系塗膜防水材料です。さらに、スーパーフレックスD2は独自の特殊粉体を使用しているため施工性・仕上げ性が改善されています。

柔軟性

低収縮性

急速反応
硬化性

接着性

高温硬化性

- 反応硬化のため塗布後約4時間(23℃・60%)経過すると、水張りや降雨による塗膜損傷がありません。
- 塗布後90分で次の工程被覆が施工可能です。
- 高温下での硬化性に優れ、硬化不良等の不具合を低減します。



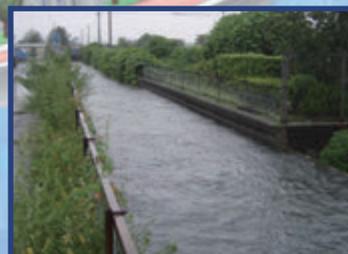
土木地下コンクリート構造物の内外壁及び基礎



トンネル・共同溝



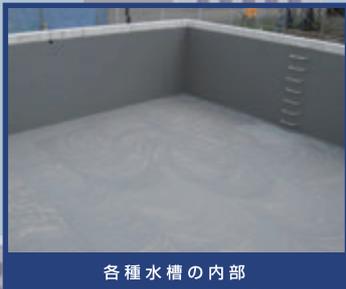
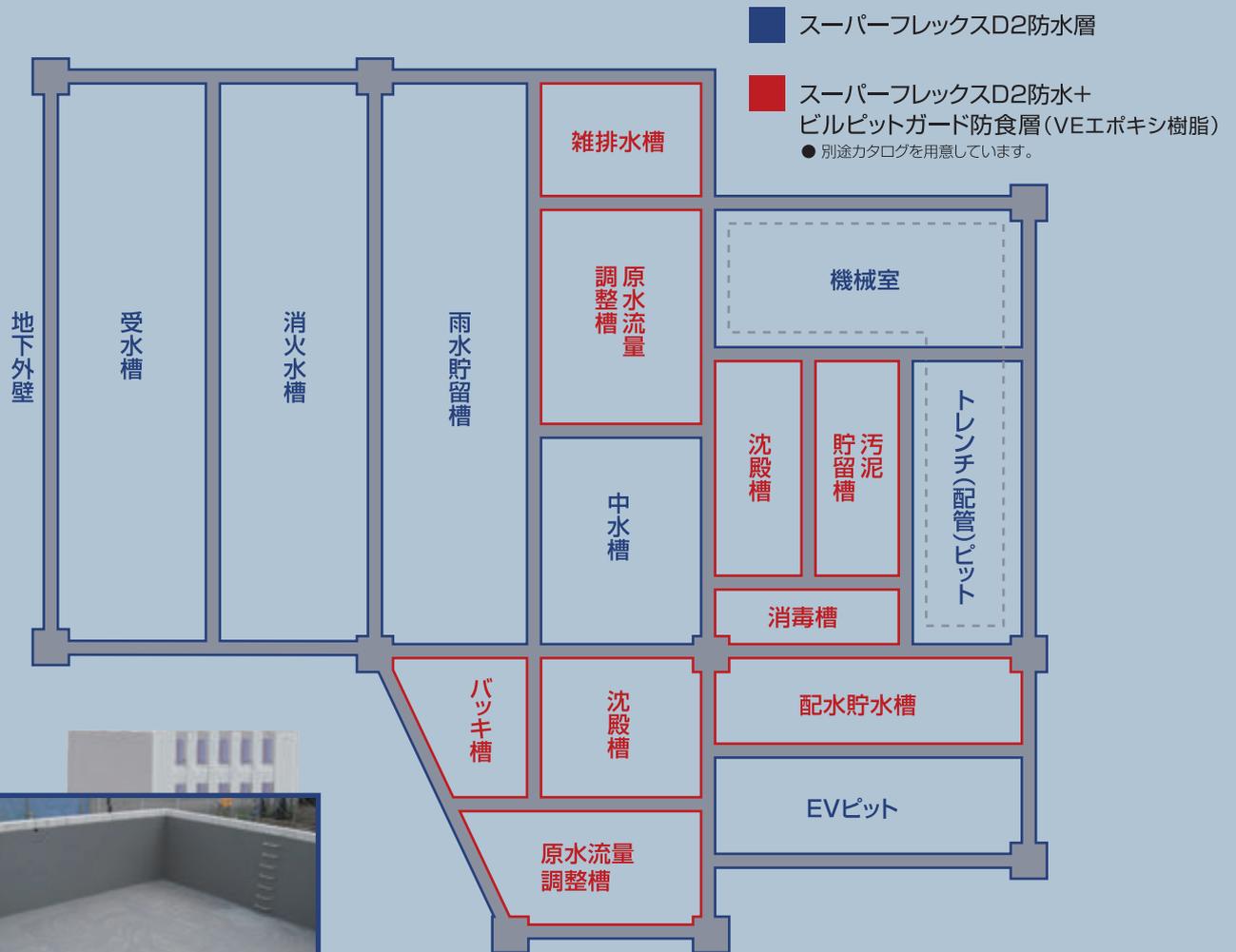
工業用水槽・水路 (VEエポキシ樹脂防食仕様)



一般水路

適用箇所平面図

様々な地下施設に適用します。

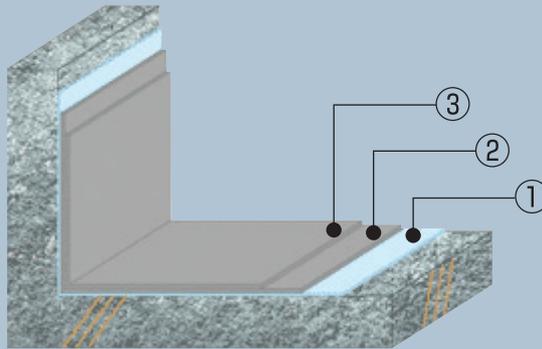


標準仕様

確かな防水工法で、適用箇所に合った各種標準仕様を推奨いたします。

※塗膜圧計算式：塗膜厚=(全固形分×使用量)÷(硬化塗膜比重×100)

工法図例



D2-B1

日本建築学会 ポリマーセメント系
塗膜防水工事施工指針(案)Bタイプ適合仕様

工程	材料名	使用量
①	プライマー	0.2 kg/㎡
②	スーパーフレックス D2	0.8 kg/㎡
③	スーパーフレックス D2	0.8 kg/㎡

※平均塗膜厚：1.1mm

【適用】
建築構造物の地下内外壁 水槽等

D2-B2

防食地下防水仕様

工程	材料名	使用量
①	プライマー	0.2 kg/㎡
②	スーパーフレックス D2	1.0 kg/㎡
③	スーパーフレックス D2	1.0 kg/㎡

※平均塗膜厚：1.3mm

【適用】
建築・土木構造物の地下内外壁 水槽等
耐薬品槽等の防食地下防水

D2-B3

高耐久性仕様

工程	材料名	使用量
①	プライマー	0.2 kg/㎡
②	スーパーフレックス D2	1.5 kg/㎡
③	スーパーフレックス D2	1.5 kg/㎡

※平均塗膜厚：2.0mm

【適用】
土木構造物の地下内外壁 水槽等

※塗布方法(刷毛・コテ・吹付け)により、1工程当たりの材料の塗布量が変わることがありますが、1㎡当たりの塗布量は変わりません。

物 性

スーパーフレックスD2は、施工性向上と共に高品質を追求いたします。

スーパーフレックスD2



20kg set



30kg set

■基本物性

基 材	液体：アクリル樹脂 粉体：特殊粉体	
色	グレー	
配 合	液体:粉体=1:1(重量比)	
荷 姿	20kg set	液10kg・粉5kg×2/set
	30kg set	液15kg/ポリ容器 粉15kg/袋
ポリマー混和液固形分	49%	
全固形分	74.5%	
硬化塗膜比重	1.07	
可使時間	約45分(23℃)	
可使温度	+3℃ ~ +30℃	

■硬化特性《温度23℃・湿度60%》

完全硬化時間	約24時間
次工程被覆可能時間	約90分
歩行可能時間	約4時間
水張り可能時間	約4時間
タイル被覆可能時間	約4時間

■高湿度時の硬化特性

養生条件	硬化時間
温度23℃ 湿度50%	4時間
温度23℃ 湿度90%	5時間
温度10℃ 湿度90%	9時間

セリノールPLUSプライマー



10kg

■基本物性

基 材	アクリル樹脂
色	乳白色
配 合	PLUS : 水=1:10(重量比)
荷 姿	10kg/ポリ容器

試験データ

スーパーフレックスD2は、確かな性能試験により品質形成されています。

基本物性試験

塗布膜厚：2.0mm

日本建築学会ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)Bタイプ

項目		実測値	基準値	
引張強さ (N/mm ²)		1.4	1.0以上	
破断時の伸び率 (%)		57	30以上	
※1 ゼロスパンテンション 伸び率 (mm)	標準	2.0	1.0以上	
	劣化 処理後	加熱処理	—	—
		アルカリ処理	2.4	1.0以上
付着強さ (N/mm ²)	標準	0.9	0.7以上	
	※2 湿潤下地		0.9	0.7以上
	劣化 処理後	加熱処理	—	—
		アルカリ処理	0.8	0.7以上
		浸水処理	0.8	0.7以上
透水性 (水圧 0.29N/mm ²)		0.1 (漏水なし)	0.5g以下	

※1 ゼロスパンテンション伸び率 乾燥膜厚:1.5~1.7mm
 ※2 24時間浸水後、表面付着水を拭き取ったモルタル下地

試験機関：(財)建材試験センター

品質管理



スーパーフレックスD2の製造元maxit社はISO9001規格を取得しております。

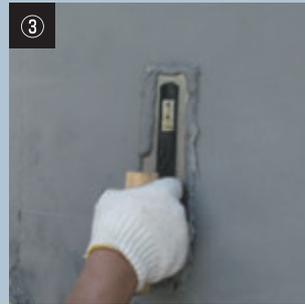
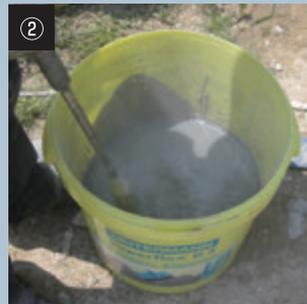
施工方法

施工条件に合わせ、適応する施工方法を選択できます。



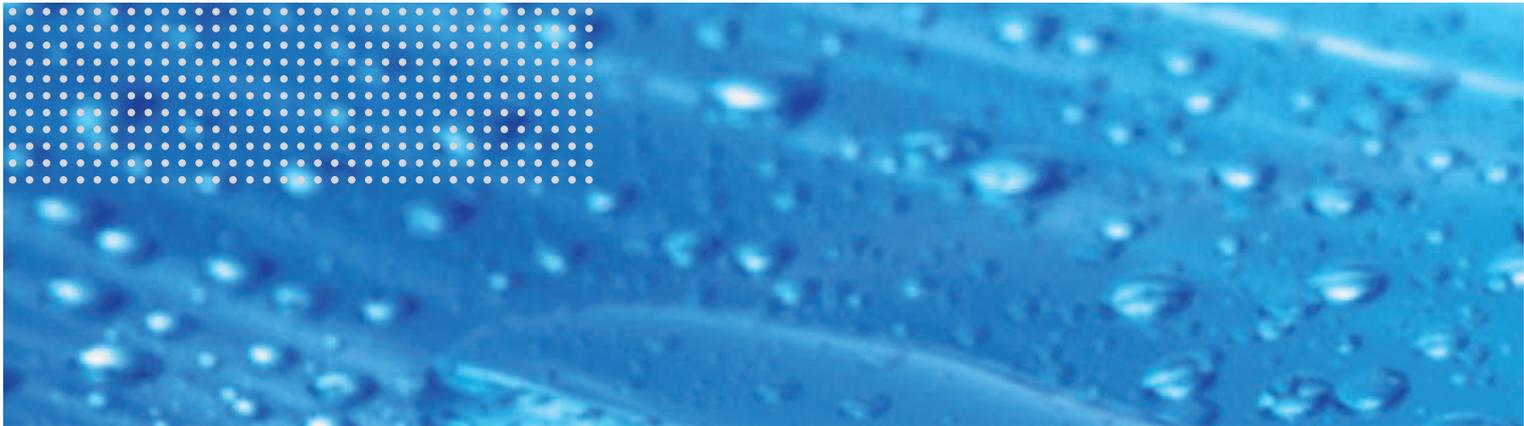
- ① 刷毛塗り施工 均一に2回塗布します。1回目は横引き、2回目は縦引きで仕上げます。
- ② コテ塗り施工 コテで一度に規定量を均一に塗布します。必要に応じて刷毛で縦引きで仕上げます。
- ③ 吹き付け施工 専用吹き付け機(INOMAT M8)※にて規定量を均一に吹き付けます。大面積の施工に適します。

施工工程



- ① プライマー塗布 下地の清掃後、セリノールPLUSを水で10倍希釈した液を0.2kg/㎡ローラー・刷毛等で均一に塗布します。
- ② 防水材の混練り スーパーフレックスD2の液体と粉体を1:1(重量比)で粉体を徐々に液体に入れながら、攪拌機で均一になるまで攪拌して下さい。※夏場などの高温時は水を2%(混練り時の重量比)添加することが可能です。
- ③ 防水材の塗布 プライマーの乾燥を確認後、スーパーフレックスD2を2回に分けて塗布します。1層目はピンホールが出ないようにしごき塗りをして下さい。
- ④ 養生 硬化特性(P.4)を参考に乾燥・硬化養生します。

※入隅部に材料溜まりがある場合、ひび割れが生じる可能性がありますので硬化前に刷毛などで平滑に仕上げして下さい。



施工上の注意

- 混練容器に液体を入れ、粉体を徐々に添加しながら だま がなくなるまで十分に攪拌して下さい。
- 気温が3℃以下の場合は施工を避けて下さい。
- 乾燥したコンクリート躯体に直接スーパーフレックスD2を塗布しないで下さい。
- コンクリート躯体表面に結露が発生している場合は塗布しないで下さい。
- スーパーフレックスD2は低温、高温での保管を避け、湿気のない場所で保管して下さい。

詳しくは、別紙「施工要領書」をお読み下さい。

Saint-Gobain Weber 社製
輸入・発売元

茶谷産業株式会社
建材グループ

<https://www.chatani.co.jp>

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4丁目1番43号
TEL. 06(6397)2 0 8 0 (代) FAX. 06(6397)2 1 6 6
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-8-7 (オー・ジー東京ビル4階)
TEL. 03(6667)2 3 6 4 (代) FAX. 03(6667)2 3 7 0

組 合 員

